



アティックニュース 電子版

ATTIC NEWS

2022年
2月4日 号
毎週発行

発行：(株)アティックツアーズ 〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-17 芝公園下山ビル3F <http://www.attic-tours.co.jp/>

フィリピン専門店がお送りする最新情報

フィリピン、2月10日より ビザなし入国が可能へ

フィリピン政府は2022年2月10日より外国籍者の無査証短期滞在(ビザなし渡航)が再開される事を発表。入国には有効なワクチン接種証明、48時間以内のRT-PCR検査陰性証明、有効なパスポートの残存期間が6ヶ月以上残っており、復路または第3国へ出国航空券などの条件が必須となっている。尚、これまでの様なホテル隔離は廃止となり、到着日から7日間のセルフモニタリングのみとなっている。しかし、現在のところはフィリピン側での1日当たりの入国者数が制限されているため、航空券運賃については割高な状態が続いている様子。



《羽田空港第3ターミナル》

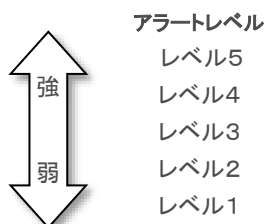
マニラ首都圏-警戒レベル2 セブ・ダバオ-警戒レベル3

フィリピン政府はマニラ首都圏及びカビテなどの近隣州について2月15日まで警戒レベル2へと規制緩和する方針を発表。セブ、ダバオ、バギオなどについては既存のレベル3が継続となった。新型コロナウイルスの状況について、2月3日現在

のフィリピン全土の新規感染者数は8,702名となっており、一時期約3万人いた状態と比べると下落に転じてきている。又、今後も感染者数が減り続ければ現在の警戒レベルシステムの運用自体の見直しを進めていき、民間企業の営業制限などは緩和していく、という噂も現地では流れている。

《アラート・レベル・システム》

地域の感染水準を5段階に区分けし、段階的にビジネス活動を制限・緩和していくフィリピン独自の形式。(2021年11月より適用開始)



* 旧検疫区分 (GCQ) などの形式) は
2021年11月に廃止。

大型台風22号被災、 セブの復興状況

昨年末に発生した大型の台風22号(フィリピン名:オデット)がフィリピンのビサヤ地方(南部・中部)の都市を直撃し大規模な被害が確認されている。マクタン島では電気が復旧したコンドミニアムもあるが、民家などではまだ電気が通っていない場所も多く、マクタン島全体での復旧とまでは至っていない状況。セブ本島の方では91%ほどの地域で電気が戻ったとの現地報道もあった。



《切れた電線が地面に落下している様子》

又、マクタン島のラプラプ市では1世帯につき5,000ペソ(約11,300円)の給付金が支給されるとの発表があり、申請場所では長蛇の列ができている。

* マンションやコンドミニアムの住人は対象外

アティック☆チャンネル登録者数5,000人突破！

弊社アティックツアーズのYouTubeチャンネルの登録者数がこの度『5,000人』を突破しました。今後マニラ・セブで【5000】という数字にちなんだ記念企画を行う予定です。登録者1万人目指して引き続き頑張りますので、見たい企画やこんなのやってみたらどうか、等ありましたらお気軽にお声かけください。引き続きよろしくお願い申し上げます。



Attic Tours JAPAN
チャンネル登録者数 5010人

ATTC 株式会社 アティックツアーズ

東京事務所(東日本エリア)
担当: 中西
Tel (03)5422-1477
Fax (03)5422-1467

福岡事務所(西日本エリア)
担当: 田中
Tel (092)481-1220



～現地メモ～ セブの映画館

ショッピングモール『アヤラセンターセブ』では本数は少ないですが映画館の営業が再開されています。現在はスパイダーマンなどが上映中

※セブ市のショッピングモールは現在12歳以下のお子様の入場はできません
《セブ支店 河合》

